

# 開校のころ(平川小学校の始まり) 1873年~1883年

- まだ学校ができていない頃は寺などで勉強をする寺子屋を開いていた。
- 寺子屋には近所の子供達が寺で勉強を教えてもらっていた。
- 1872年に誰もが勉強することができる「学制」ができ小学校を色々なところに置くことになった。
- そして今も平川にある「徳證寺」と「廣澤寺」を仮教室にし開校した。



## 開校のころ②（平川小学校の始まり） 1873～1883年

---

- ・1874年には蔵を仮の教場として開校し、平井小学校と、吉田分校と名付けた
- ・それらの学校は仮の学校ということで校舎を建て、岸上小学と名付けた
  
- ・1876年に平井村でも校舎を建て大道小学と名付けた
- ・黒川村の仮教場に通っていた子は岸上小学に平井村の子は大道小学に入学した

# 平川尋常高等小学校時代

(明治四十年～昭和十五年)

## 「制度の整備」

- ・ 明治四十年に小学校令があらためられ、明治四十一年から小学校の義務教育が四年間から六年間に変わった。(中学校は、二年間だった。)

# 「小学校の義務制」

- ・ 明治四十三年には、お金がなく学校に行けない人を助ける制度ができた。そのためみんな学校に行くことができるようになった。



# 大正六年 講堂完成

・平川尋常高等小学校には講堂がなく、二つの教室のさかいをはずして講堂の代わりに使っていた。いろいろな式や学芸会をするのに不便だったため、大正六年に講堂を作った。

・大正十年運動場拡大

・このころから授業の研究がさかんになり、授業の発表会や研究会が開かれた。



# 昭和67年「満州事変」

昭和67年日本が中国と戦争を始めた  
「満州事変」をきっかけに、

日本全体が戦争に  
男子・・・戦争へ

授業これまでの半分となった  
運動場にいもを植えた

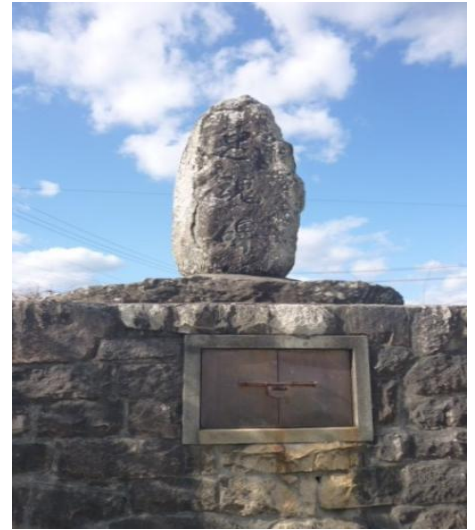


いも



運動場に防空ごうをほったり  
しました

お墓にお参りして、そうじ  
をすることもありました



戦争で亡くなった人たちの霊がま  
つってある「忠魂碑」  
が平川小学校の運動場のふじだな  
のそばにあります



# 学校統合のころ (明治17年～明治39年)

大道小学校 岸上小学校

子どもの人数が増えたので統合

明治37年

**平川尋常小学校になる**

今の平川小学校があるばしよに  
新しく校舎を建てたよ。



# 平川小の歴史(昭和22年～現在)

戦争が終わり教育制度が変わる



- ・ 小学校 6 年間、中学校 3 年間

昭和  
19年

みんなが学べる義務教育  
に！

平川国民学校から

昭和63年には  
体育館もできる



「山口市立平川小学校」になる